

しゅん工に向けた様々な取り組み <労働災害ゼロに向けた取り組み>

1. はじめに

当社は、災害ゼロを目指し、これまでも安全パトロールやマネジメントオブザベーション活動※などを実施しています。しかしながら今年度に入り労働災害の件数が増えており、今後の現場工事の本格化を前に、「二度と現場から労働災害を発生させない」という強い覚悟と緊張感をもって、様々な活動を実施しています。

7月3日には、当社社員、グループ会社、協力会社の安全担当者等を集め、臨時の再処理事業所安全推進協議会を開催し、あらためて作業員の安全意識の徹底を図りました。
(当社・グループ会社・協力会社計73社105名出席)

※マネジメントオブザベーション：管理職が現場での作業状況を観察し、作業員への問いかけを通じ、あるべき姿とのギャップに気づいてもらうことで、現場の意識やふるまいのレベルを高める活動

2. すべての作業現場の不安全箇所・不安全行為の排除のための取り組み

① 役員による協力会社事務所訪問

当社役員が協力会社事務所を訪問し、安全に対する当社の覚悟と協力会社に対する期待事項を伝え、当社と共にすべての不安全な環境の改善や不安全行為の排除に取り組んでいただくよう願っています。



埋設事業部長(7月14日)



再処理事業部長(7月21日)



濃縮事業部長(7月27日)



燃料製造事業部長(7月29日)

【実施概要】

- ・再処理事業部・技術本部 51社58箇所 (7月20日～)
- ・濃縮事業部 20社 (7月27日～)
- ・燃料製造事業部 4社 (7月29日～)
- ・埋設事業部 13社 (7月14日)

② 危険予知活動(TBM/KY※)への当社社員の参加

現場事務所等での朝礼や作業開始前の危険予知活動(TBM/KY)に当社社員が参加し、当日の作業に則した内容か、またKYは現場の状況を確認した後に実施しているか等、現場作業での安全に繋がる内容となっているかを確認します。



朝礼後、作業チームに分かれTBM(7月22日)



作業現場でのKY(7月22日)



KYの内容を当社社員が確認(7月22日)

- ※ TBM(ツル・ボックス・ミーティング)：作業前に現場監督者が中心となって、その日の作業の範囲、段取り、分担、安全上の注意点、問題点について確認をするためのミーティング。
KY(危険予知)：当日の作業に伴う危険に関する情報をお互いに出し合って共有し、危険ポイントと行動目標を定め、安全を確認し合う活動。

③ すべての作業現場の不安全箇所・不安全行為の排除

すべての協力会社が、安全総点検を行い、現場における不安全な環境の改善や不安全行為が排除されているかを確認します。当社社員も共に現場へ出て確認し、作業しやすい環境になっているか、危険な場所はないか、作業ルールがきちんと守られているかを一人ひとりが自分の目で確認し、危険を排除し作業環境を改善します。当社は、現場を一番よく知っている作業員がどんな些細なことでも気づいたことを共有できる環境を作り、それらを管理・改善・水平展開することで安心して働ける安全な現場作りを目指します。



主排気筒竜巻対策工事現場(7月21日)



冷却塔竜巻対策工事現場(7月21日)



緊急時対策所建設現場(7月22日)



第2保管庫・貯水所建設現場(7月22日)

3. 今後の取り組み

- ▶ 当社社員が現場作業において不安全箇所や不安全行為に気づき直接指導できるよう現場の労働安全に精通した人材育成を行います。
- ▶ 安全推進協議会を通じ、過去の災害事例から、被災者の年齢や業務経験年数などを分析して対象者を選定し、過去の災害と同種の災害が体感できるプログラムで危険体感訓練を実施します。

また、労働災害が起こった場合は速やかに当社、グループ会社、協力会社に内容を周知するとともに、再発防止に向けた安全を意識した議論、対話、声掛け、安全情報の共有のための教育資料配布なども継続して取り組んでまいります。

<今後の主な予定>

再処理事業所において工事本格化へ向け安全な現場作りと労働災害ゼロを目指す決起集会を開催

【日時】2020年8月3日(月) 14:00～14:30

【場所】再処理事業所 体育館

【内容】再処理事業部長挨拶、協力会社代表による安全への決意表明他

当社社員、グループ会社、協力会社が、常に安全を意識して行動するとともに、当社で働くすべての仲間が安心して働ける現場を作り、安全第一で仕事を進めてまいります。